

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長

後 藤 景 子 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり一般教科（英語）の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 准教授，講師または助教 1名
2. 所属学科 一般教科（英語）
3. 担当科目 英語，及び英語関連科目
4. 応募資格 (1) 本校の教育方針に賛同される方で，本校在籍の教員及び非常勤講師と協力して学生教育を進められる方。
(2) 心身ともに健康で，本校の英語教員の業務に積極的に取り組める方。
(3) 修士以上の学位を有する方。着任時までに取得見込みの方を含む。博士の学位を有する方が望ましい。
(4) 過去5年以内に1編以上の著書・査読付き論文等を有する方。
(5) 日本語以外を母語とする方の場合は，学内の会議や事務手続き等に関して十分な日本語運用能力を備えていること。
(6) 高等学校教諭の免許を有する方が望ましい。
5. 採用予定日 平成29年4月1日
6. 提出書類 以下(1)，(2)，及び(3)の「概要」については，本校ホームページ>「採用情報」からダウンロードできる様式を使用し，A4片面印刷で提出して下さい。
(1) 履歴書：氏名・現住所（連絡先）は，自筆で記入。
(2) 研究業績一覧
(3) 主要著書・論文等の別刷（3編以内，写し可(A4片面印刷)）及び各々の概要
(4) 最終学歴または最終の学位の証明となるもの。または学位記の写し(A4片面印刷)
(5) 教育歴一覧：
機関名・授業科目・週当りの時間数・期間を記入し，シラバスや授業アンケート結果があれば添付(A4片面印刷)，書式は任意。
以下，(6)から(8)は，いずれもA4片面印刷1枚，書式は任意。
(6) 高等専門学校における教育と学生指導に対する抱負
(7) 着任後の研究計画：英語を専門としない教員も選考に加わりますので他分野の者にもできるだけわかるように書いて下さい。(図版，写真の挿入も可。また，カラー版も可。)
(8) 照会可能な方2名の氏名及び所属機関・電子メールを含む連絡先
(9) 推薦者がいる場合は推薦書
※(1)，(2)，(3)，(5)，(6)，(7)の書類は固有名詞を除き日本語で記載して下さい。
※提出頂いた書類はお返しませんが，返却を希望される場合は，宛名，送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。

※後日、着任手続きのために、電子ファイル形式での書類提出をお願いすることがあります。

7. 応募締切 平成 28 年 11 月 8 日（火）必着

8. 選考方法 第 1 次選考：書類審査

第 2 次選考：第 1 次選考合格者を対象に面接及び模擬授業審査

（平成 28 年 11 月 26 日頃を予定）

※面接及び模擬授業審査に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。

※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。

9. 問い合わせ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 安田 智之

Tel:0743-55-6053, FAX:0743-55-6019

E-mail:koubo28e@libe.nara-k.ac.jp

10. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町 2 2 番地

奈良工業高等専門学校 総務課人事係 Tel:0743-55-6014

（封筒に「英語担当教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。）

■奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（5 年）と専攻科（2 年）があります。高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20 歳，専攻科：20～22 歳）の幅広さ等から、大学とも高等学校とも異なる点があり、教員は教育、研究、学校運営、学生の生活指導等、多様な業務を要求されます。以下では奈良高専の教員（一般教科）の教科指導以外の職務について、主な職務の概要を記します。

① 校務分掌

学級担任としては一学級 40 人程度の学生への支援を行います。また、各種の委員会委員として学校運営に参加します。すべての教員は何らかの委員会に属しています。

② 研究

研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されます。個室の研究室があり研究費の予算立てもあります。一方、業績に関し数年に一度は必ず外部評価が実施されます。

③ クラブ顧問

すべての教員がクラブ顧問として課外活動指導を行い、校外競技参加時の引率も行います。

④ 学生寮の宿直

原則、全教員が交代で学生寮宿直を行い、指導、巡回・点呼、緊急時の対応等に当たっています。

⑤ その他（英語教員の場合）

年に複数回の入試問題作成と採点、留学生指導や国際交流の指導で中心的役割が期待されます。

■奈良高専における英語教育について

国立高専機構が目指す「世界に通用するグローバルエンジニアの育成」に基づき、本校では学生が各々の専門分野において英語で書かれた論文や解説書を理解し、かつ英語で論文や報告書を作成できる力の習得を目指して英語教育を実施しています。加えて国際学会での発表、あるいは就職後の海外派遣に支障がない程度の英語によるコミュニケーション能力を習得させるように努めています。

低学年（本科 1, 2 年生）では、文部科学省検定教科書を使用し、文法の徹底と語彙力の増加をはかります。精読、英作文を通じて文法及び構文を理解させ、ドリル学習によってそれらの定着を目指し、コミュニケーション能力の基礎を培うことを目標にしています。また、英文テキストが容易に読むことができる、辞書を使えば英語の新聞がある程度まで理解できる、英語でメールが書けるようになるための基礎となる文法知識と語彙力を身に付ける、このように低学年の内に高校卒業程度の英語力の

習得を目指しています。

高学年（本科 3, 4, 5 年生）・専攻科ではより実践的な英語力養成を目指します。実践的な英語力という観点から、多読・速読を中心に、コンピュータ、マルチメディア教材を使った e-ラーニング、英語によるプレゼンテーションの指導も行っています。また、卒業後の社会のニーズに応えるため、3 年生以上の学生は毎年 TOEIC IP を受験しています。そのため、TOEIC 対策を行う科目も設けられています。専攻科では、学生が研究内容を国際社会で発信・受信していけるよう、専門学科と英語科が連携し、スピーチやディスカッション、プレゼンテーションのための英語力を高める講座も開講しています。

授業外においても学生が独習に励むことができる環境作りを積極的に行っています。例えば、放課後には、会話やプレゼンテーションの力を伸ばす課外活動での指導、また編入学を目指す学生の個別指導や夏期講習も行っています。また、近年本校でも国際交流が一層活発に行われるようになり、年に数回の国際交流プログラムが実施されており、英語科では海外への学生の引率、海外からの留学生の受け入れ、それらに伴う学生の指導に積極的に協力しています。

グローバル化が進む中、国際的に活躍できるエンジニアの育成は急務であり、高専英語教育が担う役割はますます重要視されています。そのような社会情勢の中、より効果的で意義深い新たな奈良高専の英語教育を提案し、辛抱強く学生に理解を促すことができ、他の教員と円滑に職務を行うことができる方の応募を我々は待ち望んでおります。